

【総合学科フェスタ 3年次生中谷 未希さん 課題研究の発表行う】

平成 28 年 12 月 26 日（月）神奈川県総合産業高校にて総合学科フェスタが開催されました。このフェスタは県内の総合学科高校の生徒代表者が一堂に集まり、総合学科の柱となる「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「課題研究」について、それぞれの学校がどのように取り組んできたのか、その内容を発表する場です。



今回の総合学科フェスタでは、東京都立つばさ総合高校の2年次生2名の招待発表がありました。また各専門学校の方8名、都立高校の校長 11 名、都立高校の副校長・職員 14 名など県外からの参加者がとても多い中で開催されました。

本校では、3年次生の中谷 未希さんが「音楽と作曲」をテーマに課題研究発表を行いました。

中谷さんは、「10代で口ずさんだ曲は一生忘れない」という印象的なキャッチフレーズで発表を始め、昭和と平成の音楽は何が違うのかについてメロディーや歌詞の違いを中谷さんの視点から分析・考察し、また10代の脳の記憶中枢の説明も印象的でとてもすばらしい発表でした。

この発表に向けて資料を収集し、分析しながら傾向を探る。そこから流行のポイントを考察し、次の世代の流行につながるかも知れない自分自身の作詞・作曲の歌を披露した「まとめ（結論）」に、場内からその日一番の盛大な拍手が起きました。

総合学科フェスタは、総合学科高校の柱となる「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「課題研究」の授業をとおして、自分自身の将来を見つめ、生き方を考え、課題を探り課題解決（自己実現）に向けてどのように取り組んできたのかを発表する集大成の場です。



日頃生徒たちはこの課題解決に向けて、分析・考察の学習を繰り返し、これらの学習活動をとおして思考力・判断力・表現力そして創造力を身につけています。

今年もすばらしい総合学科フェスタが無事に終了しました。